

日弁連・全国アクションプログラム

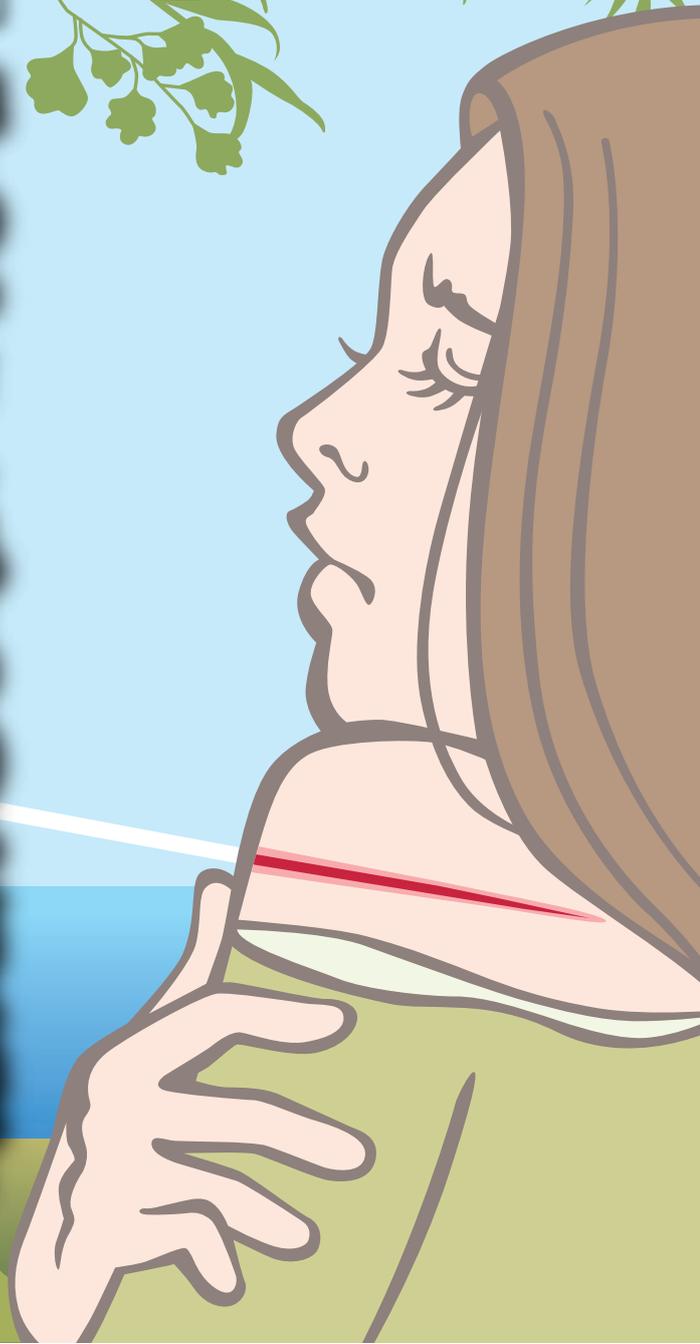


市民とともに考える
憲法講座 Vol. 5

シンポジウム

守つてくれるのは軍隊？ それとも憲法？

（沖縄基地問題から平和憲法を考える）



2019
12月21日 土

開場**13:30** 開演**14:00**
入場**無料** 予約**不要**

福岡県弁護士会館大ホール
福岡市中央区六本松4-2-5

地下鉄：七隈線六本松駅下車、1番出口から徒歩約3分
西鉄バス：「六本松」下車、徒歩約3分



駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください

自然豊かで観光客も多い沖縄県。一方で国土面積の約0.6%しかないにもかかわらず、全国の米軍専用施設面積の約70.6%が集中している県でもあります(平成29年1月1日現在)。このような米軍基地が沖縄の社会に大きな影響を与え続けてきました。また、沖縄は1972年に日本復帰を果たすまでアメリカ統治下であり、日本国憲法は適用されていませんでした。

福岡に住む私たちもこのような沖縄の歴史、現状を見つめ直し、民主主義や地方自治、国民一人一人の基本的な人権といった憲法の価値について、あらためて考えてみる必要があるのではないのでしょうか。そこで、地元紙の新聞記者の視点から沖縄の現状について、また、沖縄の米軍基地についてアメリカの議員らと意見交換を重ねてきたNGOの視点からアメリカから見た基地問題についてご講演いただきます。ぜひ、ご一緒に考えてみませんか。

Matsumoto Tsuyoshi

松元 剛 氏



琉球新報・編集局長

1965年、那覇市生まれ。89年、琉球新報社入社。19年、執行役員編集局長。『徹底検証 安倍政治』(岩波書店)など共著も多数。

Saruta Sayo

猿田 佐世 氏



弁護士

ND代表・上級研究員、弁護士(日本・ニューヨーク州)、立教大学講師、沖縄国際大学特別研究員、早稲田大学政治学「教育課程連携協議会」委員。